永田クラブ・経済研究会に公表

報道資料

令 和 ２ 年 ７ 月 ３ １ 日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和２年度選定）について

「未来技術社会実装事業」は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先導性と横展開可能性等に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築するなど、関係省庁による総合的な支援を行うものであり、スマートシティ関連事業として取り組んでおります。

平成30年度より、未来技術社会実装事業として22事業の支援を実施しているところであり、選定事業毎に地域実装協議会を組織し、社会実装に向けたワンストップ支援を実施しております。

今般、地方公共団体から応募いただいた事業について、事業内容、期待される効果、地方創生への寄与（革新性、先導性、横展開可能性）等に優れた事業について、下記のとおり選定いたしましたのでお知らせします。

今後、順次、選定事業ごとに、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を行ってまいります。

記

未来技術社会実装事業（令和２年度選定）：１２事業

【担当・問合せ先】
内閣府　地方創生推進事務局
八木、中川、川又、右高（03-6206-6175）

＜添付資料１＞　　未来技術社会実装事業（令和２年度選定）事業一覧
＜添付資料２＞　　未来技術社会実装事業（令和２年度選定）事業概要
＜添付資料３＞　　未来技術社会実装事業について

添付資料１

未来技術社会実装事業（令和２年度選定）　事業一覧

No.	提案者	提案タイトル
１	茨城県潮来市（※）	道の駅「いたこ」・水郷潮来バスターミナルの地域拠点を接続する自動運転サービス事業
２	栃木県	とちぎの林業イノベーション by Society5.0
３	埼玉県秩父市	山間地におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業
４	埼玉県和光市（※）	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版 MaaS 構想案）
５	石川県小松市（※）	小松市における２大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業
６	大阪府四條畷市（※）	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり
７	奈良県三郷町（※）	５Ｇを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティ SANGO」
８	島根県美郷町	映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による美郷町版医療福祉産業イノベーションの実現
９	山口県宇部市	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」
１０	高知県四万十市（※）	自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築
１１	長崎県対馬市（※）	対馬スマートシティ推進事業
１２	鹿児島県長島町	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業

（※）は、国土交通省道路局「内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業」対象事業

（都道府県・市区町村コード順）

添付資料２

未来技術社会実装事業（令和2年度選定）
事業概要

提案タイトル	道の駅「いたこ」・水郷潮来バスターミナルの地域拠点を接続する自動運転サービス事業

提案者	活用技術
茨城県潮来市	5G、自動運転

■ 背景・課題

目指す将来像

- 将来の少子高齢化・人口減少を見据え、鹿嶋市及び行方市等周辺自治体との広域的な公共交通ネットワークを構築する
- その上で、交通弱者の移動が容易に行え、収益等を担保できる持続可能な公共交通網を整備する

解決すべき課題

- 高速バスの運行により、市外への移動手段は確保されているが、市内拠点間の移動は自家用車での移動が主となっている
- 水郷潮来バスターミナルと道の駅「いたこ」は約1kmの距離にあるものの連携が弱いため、拠点間を連絡する移動手段の確立により、交通結節点と地域交流拠点一体の活用が期待できる

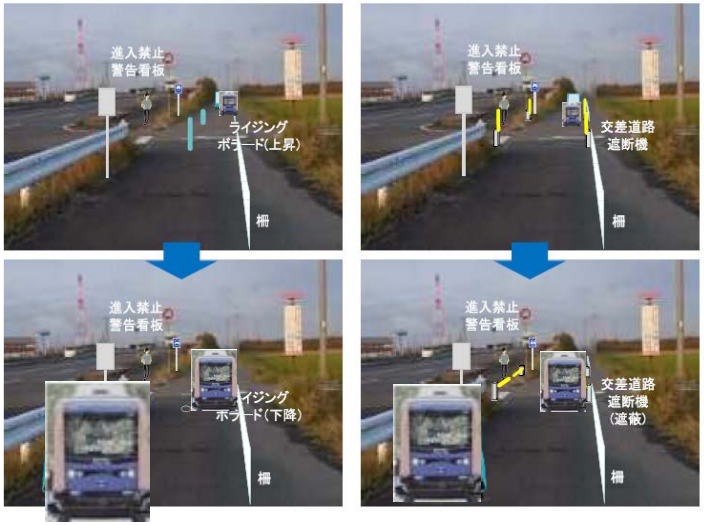
■ 実装を目指す主な事業内容

〇事業：地域内の異拠点間を連携する自動運転サービス社会実装

活用技術	事業概要
5G 自動運転	• 「道の駅」と「高速バスターミナル」の相互連携による拠点機能の強化 • 信号無し交差点における自動運転車走行空間への他交通の誤侵入防止策の検証 　－ 接続部の誤進入防止策（ﾗｲｼﾞﾝｸﾞﾎﾞﾗｰﾄﾞ、遮断機等）の効果検証 　－ 遮断タイミング等の交差処理の実効性、他交通との錯綜有無の検証 • 5G通信による車両と誤進入防止策間の制御

信号無し交差点（自動運転車対面通行）

パターン①：ライジングボラード使用　　パターン②：交差道路遮断機使用



＜主な検証内容＞
- 接続部の誤進入防止策（ライジングボラード、遮断機等）の効果検証
- 遮断タイミング等の交差処理の実効性、他交通との錯綜有無の検証　など

図　対象エリアの位置図（バスターミナル～道の駅間）と交差部の運用イメージ

提案タイトル	とちぎの林業イノベーション by Society5.0

提案者	活用技術
栃木県	AI、IoT、5G、自動運転、ドローン

■ 背景・課題

目指す将来像

- 林業×未来技術により、
  記憶・経験のアナログ林業からデジタルを活用したスマート林業への転換を図り、世界に誇る林業大国を目指す

解決すべき課題

- とちぎの森林のフル活用、需給ミスマッチ解消と森林の若返りによる公益的機能の高度発揮 ＜現状：約70%が利用期＞
- 人口減少など社会情勢を踏まえた労働生産性の向上 ＜現状：日本 主伐 7m3/人日・オーストリア 30～60m3/人日＞
- 林業の魅力アップによる若年者の新規参入 ＜現状：若年者（10～20代）約30%（新規就業者に占める割合）＞

■ 実装を目指す主な事業内容（モデル的に実施し効果を検証）

○事業：森林資源情報のデジタル化・可視化

活用技術	事業概要
AI、IoT 5G	• 航空レーザー計測による森林資源情報の把握（樹種・地形・境界等） • クラウドシステムや5Gを活用した森林情報の高度利用

○事業：生産管理のICT化

活用技術	事業概要
AI、IoT	• ICTの活用による効率的な生産管理・需給マッチングシステムの導入

○事業：自動化による労働負荷低減

活用技術	事業概要
AI、IoT 自動運転 ドローン	• 伐採等における自動化技術の導入による木材生産性の向上 • 林業用アシストスーツの活用による労働者の負担軽減

※出典：「林業イノベーション現場実装推進プログラム」（令和元年12月林野庁）
栃木県環境森林部統計による

■ （参考）林業の生産工程

①森林資源情報等の把握 → ②木材生産の計画・管理 → ③伐採 → ④集材 → ⑤運搬 → ⑥造林

レーザー測量（航空、ドローン、3D）

生産管理システム（オンデマンドGIS・アプリ）

現場の自動化（自動伐倒作業車・自動集材機・木材検収システム）

アシストスーツ

ドローンによる苗木運搬

提案タイトル	山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業

提案者	活用技術
埼玉県秩父市	IoT、5G、自動運転、ドローン

■ 背景・課題

目指す将来像	• 未来技術を活用し、人とモノの移動の困難さに着目した山間地域での物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」を構築する • この取り組みにより新たな事業や産業を誘致し、雇用の創出につなげて人口減少や流出を抑制し、地域の活力を生み出す
解決すべき課題	• 山間地を多く抱え、災害時には生活インフラが寸断されることから、物流・交通の新たなモデル構築が必要となっている • 山間地の住民の多くが高齢者であり、今後、医療受診が困難となる状況が予想される

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：ドローン物流事業

活用技術	事業概要
ドローン	• ドローンを活用して日常の生活用品や医薬品の配送を行い、高齢者や買い物弱者への支援を行う。また、この取り組みにより、災害時における交通インフラ寸断の際の物資輸送のルートを確保する

○事業：遠隔医療事業

活用技術	事業概要
IoT 5G	• 高齢者が多い山間地域での医療を確保するため、IoTや5Gなどの未来技術を活用してオンライン診療を導入し、地域内の医療機関との連携により、受診困難者への支援体制を構築する

○事業：秩父版MaaS（貨客混載・EVカーシェアリング）事業

活用技術	事業概要
自動運転	• 既存の物流・交通網を生かしながら、地域住民の生活の足の維持と観光客を含めた交流人口の利便性の向上に資する公共交通システムを自動運転（配送）の技術を織り交ぜて構築する

■「山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業」の全体イメージ

提案タイトル	地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業（和光版MaaS構想案）

提案者	活用技術
埼玉県和光市	5G、自動運転

■ 背景・課題

目指す将来像

- 産業集積拠点の中心部にある外環道新倉PAの拡張に向けた「（仮称）和光SA構想」を掲げ、地域振興拠点として商業施設と合わせて広域交通拠点としての高速バス等のターミナル機能を構築し、和光市駅と新倉PA間の1.5kmを結ぶ新たな公共交通サービスとして、自動運転サービスの実装を目指す

解決すべき課題

- 移動時間の定時性確保や高齢者の移動のしやすさが課題
- 和光市駅～新倉PA間を結ぶ新たな交通手段、及び国道254BP沿線の新たな産業集積による就業者の通勤手段の確保が課題

■ 実装を目指す主な事業内容

〇事業：外環道PAを中心とした交通・産業拠点と鉄道駅間を連絡する自動運転サービス社会実装

活用技術	事業概要
5G 自動運転	• 和光市駅と新倉PA、及び周辺の産業集積拠点間の新たな公共交通サービスによる拠点機能の強化 • 外環道側道部の道路空間を活用した自動運転車両走行空間の整備（EV型自動運転車両の専用レーンの設置） － 外環道側道部の専用レーン化のためのハード整備、EV型自動運転車両の運行機能の補助 ・電磁誘導、拠点へのEVステーション設置　等 － 交差点の交通制御 ・5G通信による車両と信号制御（ローカル5G） ・誤進入防止策（ライジングボラード等）の制御

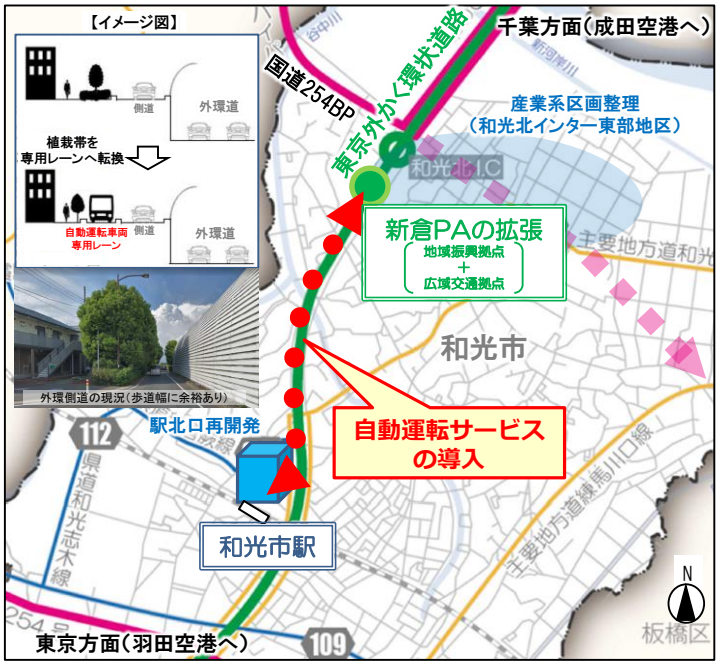


図　対象エリア（和光市駅～新倉PA間）の自動運転サービスによる広域交通との連携イメージ

提案タイトル	小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業

提案者	活用技術
石川県小松市	AI、5G、自動運転

■ 背景・課題

目指す将来像	• 開業予定の新幹線駅と約4.4kmの至近距離に位置する小松空港との相乗効果で“北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」”を推進
解決すべき課題	• 空港利用者の多くが金沢や福井方面への直行バス等を利用している現状にあり、空港利用者をもっとまちなかに誘導するため、観光・交流面の強化などに加え、特に「**新幹線駅⇔空港間を直結する快適・スムーズなアクセスの実現**」が課題となっている。

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：駅−空港間シャトル暫定供用

活用技術	事業概要
AI 自動運転	• 北陸新幹線小松駅開業予定の2023年春を第1ターゲットとして、**小型・多頻度の自動運転バス(暫定レベル3)**による移送サービスを開始 • 公共交通におけるレベル3達成のため、日野自動車㈱のほか、金沢大学等との協働で、予定ルート上での実証実験、必要となるインフラ整備を実施 • 暫定供用開始に向け、レベル3対応の自動運転バス(2台)及び運行管理システムを導入

○事業：駅−空港間自動運転シャトル本格運行

活用技術	事業概要
AI 5G 自動運転	• 技術開発の進展に応じた最も早い時期において、**レベル4自動運転バスを社会実装**し、ドライバー不足に対応した多頻度化を実現 • そのため、上記レベル3暫定供用を1つの通過点として、レベル4化を目指した取り組みを継続 • 本格運行に際し、先行導入車両のレベル4化、レベル4自動運転バス(2台)の追加、運行管理システムから管制システムへの強化を予定

[“レール＆フライト”の実現で広域交流の拠点に]

提案タイトル	けいはんな学研区域（田原地区）における地域主体の持続可能なまちづくり

提案者	活用技術
大阪府四條畷市	AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、自動運転、ドローン、キャッシュレス

■ 背景・課題

目指す将来像

- ICT等生活や経済活動の利便性を向上させうる新たな技術を巧みに活用しつつ、産官学と住民・地域コミュニティが参加・活動して、よりよい地域社会、住みよい環境をデータドリブンで創り上げていく、最適なまちづくりを進めていけるまち

解決すべき課題

- 公共交通手段の確保・維持
- 買い物に関する不便解消
- 地域社会における住みよさの持続化

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：自動運転車の導入・運行

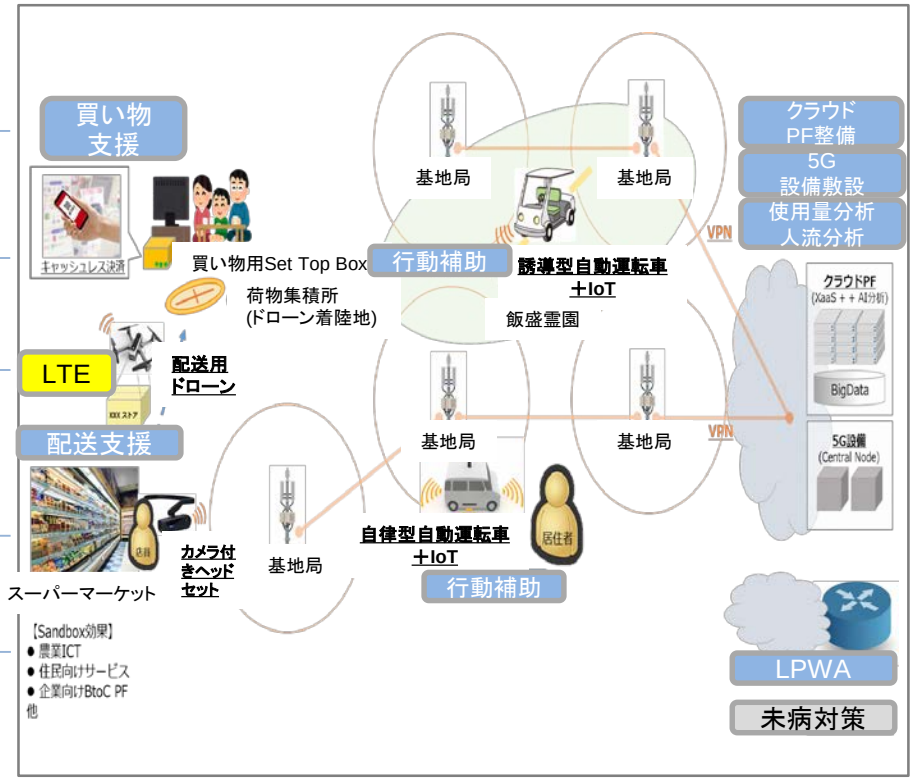
活用技術	事業概要
AI、IoT 5G クラウドコンピューティング 自動運転	• 誘導型自動運転車、自律型自律運転車（レベル4）を導入し、コミュニティバスとして運用

○事業：買い物・配送支援

活用技術	事業概要
IoT クラウドコンピューティング 自動運転 ドローン キャッシュレス	• Tele Presenceロボットとドローン等、及びUI対応のSet Top Boxにより、在宅でのリアルな買い物感覚による買い物と近隣集積地までの自動配送を実現

○事業：都市OS整備・運用とSandBox利活用支援

活用技術	事業概要
AI、IoT 5G クラウドコンピューティング ビッグデータ	• 自動運転やまちづくりに必要な都市OSを整備し、地域社会の課題解決や新たな企業サービス・住民サービス展開に向けたSandBoxの利活用推進を図る



四條畷市（田原地区）スマートシティ化イメージ図

提案タイトル	5Gを軸とした全世代全員活躍のまち「スマートシティSANGO」

提案者	活用技術
奈良県三郷町	AI、5G、自動運転

■ 背景・課題

目指す将来像

- ICT・IoT技術を活用した誰もが生涯現役で活躍できる「全世代・全員活躍のまち」を目指し、地域BWAとローカル5Gを軸に公共交通充実と安心・安全なまちづくりを進め、住民の外出機会・高齢者や障がい者等の雇用機会創出、企業誘致・移住者増加を図る。

解決すべき課題

- 町内の高齢化率は奈良県平均よりも高く、また坂道が多い地形のため、高齢者の移動手段の確保が重要な課題となっている。
- 公共交通事業者の人手不足により、将来的な公共交通の維持が厳しいものになると予想される。
- 人口減少が進む中、地域での見守りの維持は難しく、子どもや認知症による徘徊の見守り等住民の安全確保も重要な課題である。

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：路線バスの自動運転化社会実装

活用技術	事業概要
5G 自動運転	• JR三郷駅～奈良学園大学間の既存路線バスルート（非専用空間）を対象に、自動運転車両の実証実験（公道上は運転者が同乗しての自動運転、大学跡地内での遠隔制御の検証）を行う。 ※公道上のレベル4自動運転やローカル5G整備が難しい場合は運転者同乗による運行を想定 • 運転手不足に悩む交通事業者が5Gを活用した自動運転車両の遠隔監視の実証実験を行う。 （高齢者や障がい者の雇用機会創出の可能性に期待）

図　自動運転車両の事業イメージ

○事業：AI・ローカル5Gを活用した顔認証・画像認識による見守り・防犯システムの社会実装

活用技術	事業概要
AI、5G	• 固定防犯カメラ、また自動運転車両に搭載した移動防犯カメラを活用した顔認証による子ども、高齢者等の見守りシステムの実証実験を行う。 • AI画像認識による不審者、不法侵入等や、車いすの利用者等が困っている場面を自動で検知可能な防犯システムの実証実験を行う。

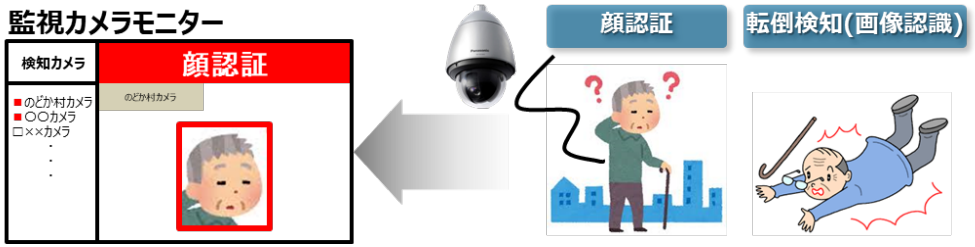


図　顔認証・画像認識による見守り・防犯システムイメージ

提案タイトル	映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による 美郷町版医療福祉産業イノベーションの実現

提案者	活用技術
島根県美郷町	AI、ドローン、キャッシュレス

■ 背景・課題

目指す将来像	• さまざまな人や企業・知識・技術や情報が集まる産業の振興 • 多様な住民が安心して暮らしていける社会基盤の成熟・高度化
解決すべき課題	• 高齢化率上昇と医療・福祉産業の増加をチャンスと捉えた新たな産業基軸の育成 • 地域交通網の確保とJR三江線廃線に伴う公共交通網維持

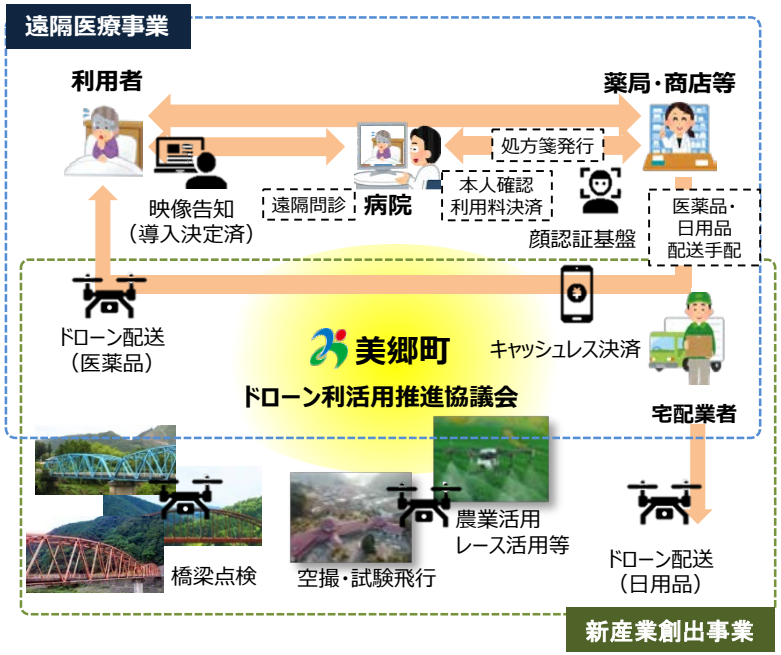
■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：遠隔医療事業

活用技術	事業概要
AI ドローン キャッシュレス	• IP映像告知端末を活用した遠隔による医療診断事業 • AIを活用した画像解析による本人確認 • キャッシュレス決済による医療費支払い • ドローンによる医薬品の宅配

○事業：ドローンを活用した新産業創出

活用技術	事業概要
ドローン	• 多種多様な構造を持つ橋梁のインフラ点検 • 豊かな自然を生かしたドローン空撮、試験飛行 • ドローンによる日用品の配送



提案タイトル	レジリエントで持続可能な社会を創る「スマートシティ宇部プロジェクト」

提案者	活用技術
山口県宇部市	AI、IoT、5G、ドローン、VR/AR、キャッシュレス、SIP

■ 背景・課題

目指す将来像	• withコロナ時代における経済と安全の両立した持続可能なスマートシティの実現に向けて、未来技術を積極的に活用・導入することにより、地域経済にイノベーションを起こし、新産業や新たな雇用の「創出」へとつなげ、その先には新たな事業が連続して産まれる、スタートアップ・エコシステムの形成も目指す
解決すべき課題	• 防災に関する住民の関心度の低さ、大型店舗撤退による中心市街地の衰退、魅力的な雇用が無いことによる若者の市外への流出、公共交通網の縮小や運転手不足、生活習慣病を要因とする医療費・介護費の増加など、課題が山積している

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：防災意識を高めるスマート防災の推進

活用技術	事業概要
AI、IoT 5G ドローン VR/AR SIP	• 避難勧告時の携帯位置情報をAI分析し効果的に活用 • 自分事となる防災啓発効果の高いVR/AR教材を作成 • ローカル5Gによる高度水害監視システムで4Kカメラ・ドローン等の映像をリアルタイム伝送

○事業：アート×5Gデジタルコンテンツの作成・展示

活用技術	事業概要
5G VR/AR	• 5G等を活用したVR/AR等での体験型展示を実現 • セル画等のデジタルアーカイブの作成・保管

○事業：AI活用型個人向けヘルスケアサービスの提供

活用技術	事業概要
AI、IoT	• 健診データ等のプラットフォームを構築し、アプリによる情報提供や、AI解析システムによる健康状態予測サービスをプッシュ通知により提供

○事業：車海老養殖技術のスマート化とブランド力向上

活用技術	事業概要
AI、IoT	• 環境センサーデータを分析し、AI学習モデルにより高度な生産ノウハウを可視化 • 食品トレーサビリティシステム導入でブランド化

○事業：中心市街地でのAIオンデマンド公共交通の実装

活用技術	事業概要
AI、IoT キャッシュレス	• 中心市街地で、キャッシュレス決済を導入したAIオンデマンドによるドアトゥドアの移動手段を提供

自動運転実証運行で移送実験

グリーンスローモビリティ実証運行

提案タイトル	自動運転技術利活用による地域公共交通システムの構築

提案者	活用技術
高知県四万十市	自動運転

■ 背景・課題

目指す将来像

- 公共交通の確保、生活の安定が担保された魅力ある市街地及び利便性の高いサービス提供が可能な地域公共交通網の形成
- 運転手担い手不足が常態化する中、地域特性やニーズに対応した次世代型車両の導入

解決すべき課題

- 高齢化地域での公共交通の担い手および公共交通不便地域での生活の足の確保に加え鉄道駅から本市拠点地域へのアクセス向上
- 維持管理費削減のため、運行経費削減に繋がる持続可能な地域公共交通システムの構築

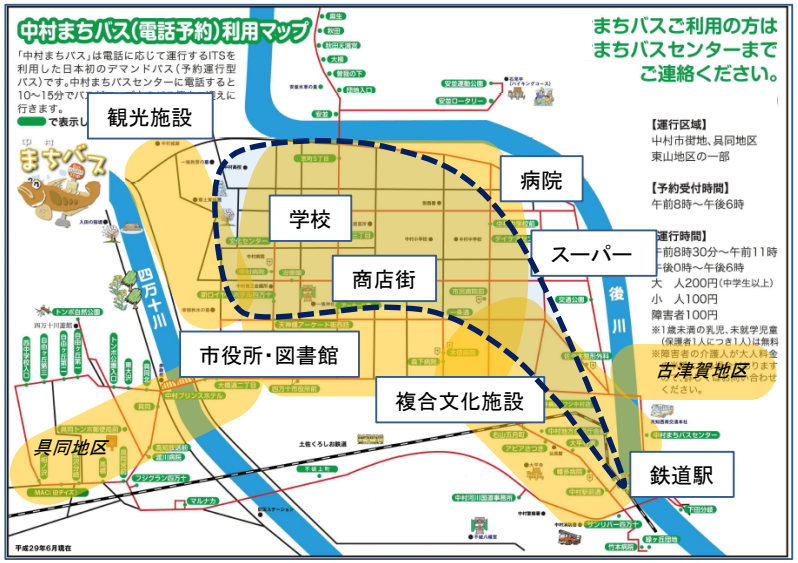
■ 実装を目指す主な事業内容

本市の拠点地域における移動手段となっているデマンド型交通について、段階的に自動運転技術及びIoT技術の導入による機能・運用改善を図り、新たなデマンド型の地域公共交通システムを形成する。

○事業：自動運転車両導入による本市拠点地域の移動円滑化・効率化

活用技術	事業概要
自動運転	• 本市拠点地域での公共交通手段として自動運転車両を導入 • 地域住民の生活の足及び観光客の移動手段を確保し、生活の質の維持及び市街地活性化を両立 • 既存の地域公共交通体系について、公共交通事業運営の段階的なコスト縮減・効率化を探る

実証実験に活用予定車両（イメージ）



「自動運転車両」と「まちバス」との役割分担（イメージ）

提案タイトル	対馬スマートシティ推進事業

提案者	活用技術
長崎県対馬市	AI、IoT、自動運転、ロボット、VR/AR

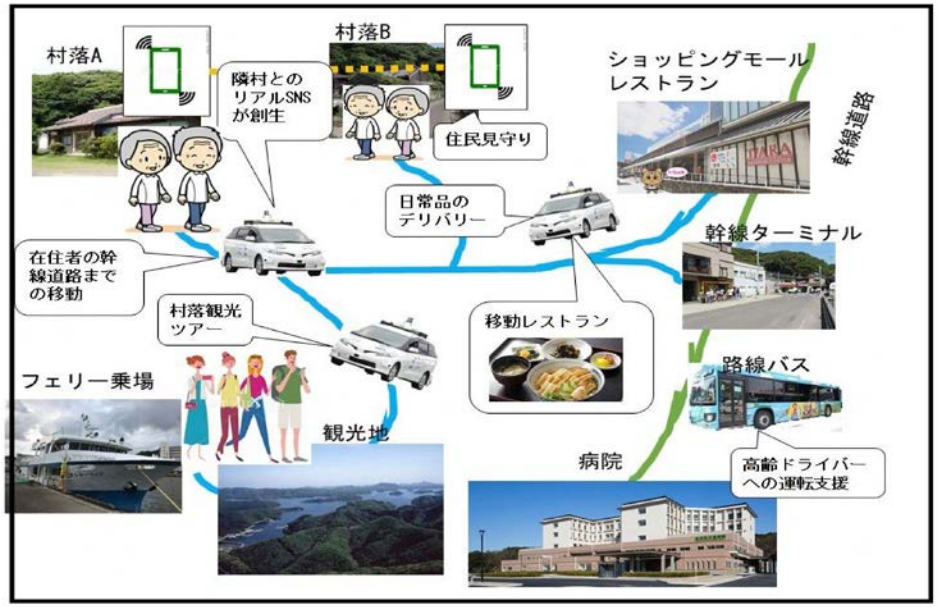
■ 背景・課題

目指す将来像	• 自動運転技術とIT、AI技術を駆使したMaaS及び関連サービスの一体的な導入により、Society5.0を具現化し、地域課題解決を行っていくスマートシティ構想を実現する
解決すべき課題	• 人口減少と少子高齢化、過疎化を根本原因とした、運転手の高齢化、利用者減少による公共交通の衰退。それによる買い物難民や通院難民の増加。担い手不足による産業の衰退。ひいては地域社会の維持ができなくなることが危惧される

■ 実装を目指す主な事業内容

〇事業：自動運転技術とスマートシティプラットフォームを活用した社会課題の解決事業

活用技術	事業概要
AI、IoT 自動運転 ロボット VR/AR	• 自動運転技術を活用することによる交通難民、買い物難民の解消 • 定住者、旅行者、事業者が共通で使えるスマートシティプラットフォームを構築し、だれもが容易に効率よく利用できるインターフェースの開発 • 上記技術を地元で学び、地元でメンテナンスし、地元に人の還流を呼び起こす研究機関の設立



サービスのイメージ

提案タイトル	先端技術を活用した長島大陸未来都市実証事業

提案者	活用技術
鹿児島県長島町	IoT、5G、ロボット、ドローン、VR/AR

■ 背景・課題

目指す将来像

- **日本一のぶりの養殖業**を誇る長島町の水産業を先端技術により、さらに稼げる産業にしていく。
- 全国から**移住定住の促進**ができる魅力ある地域にしていく。
- だんだん畑を利用した**赤土じゃがいもづくり・柑橘栽培を持続可能な産業**にする。

解決すべき課題

- 漁業における人材不足・環境変化のモニタリングコスト増大・水産資源の枯渇
- 移住定住促進のためのコスト増大
- 農業分野における生産コスト増大・人材不足

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：日本一の鰤のスマート養殖事業

活用技術	事業概要
IoT 5G ロボット	• 洋上いけすにセンサーを埋め込む**IoTモニタリング赤潮対策** • 自動給餌システム・潜水ロボットをつかった清掃など**漁業の自動化** • 人工種苗（鰤・鯛など）をつくる種苗センターのIT活用 • 生産から出荷までを一貫してロボットがおこなう**加工場の自動化**

○事業：AR/VRを活用した移住定住相談事業

活用技術	事業概要
5G VR/AR	• 町内各地の不動産情報（空き家）の**VR内見** • AR技術をつかった遊休資産（空き家など）**リノベーション体験** • 教育環境や仕事といった生活などを体験できるVRコンテンツ • **遠隔からでも対応可能**な移住相談窓口（リモート接客）

○事業：山間部におけるドローン農業事業

活用技術	事業概要
IoT 5G ドローン	• **山間部の**だんだん畑に利用できる**ドローン活用** • ドローンによる農薬散布 • **画像認識**による効率的な栽培方法の確立 • 柑橘栽培の消毒・肥料の**自動散布システム**の確立

生活・仕事をAR/VRを使い見える化を行う。

遠隔による移住相談により担い手の創出をしていく

基幹産業を未来技術を活用し、より稼げる産業にしていく

鰤養殖の給餌の様子

長島の赤土じゃがいも収穫の様子

特産品の不知火（デコポン）

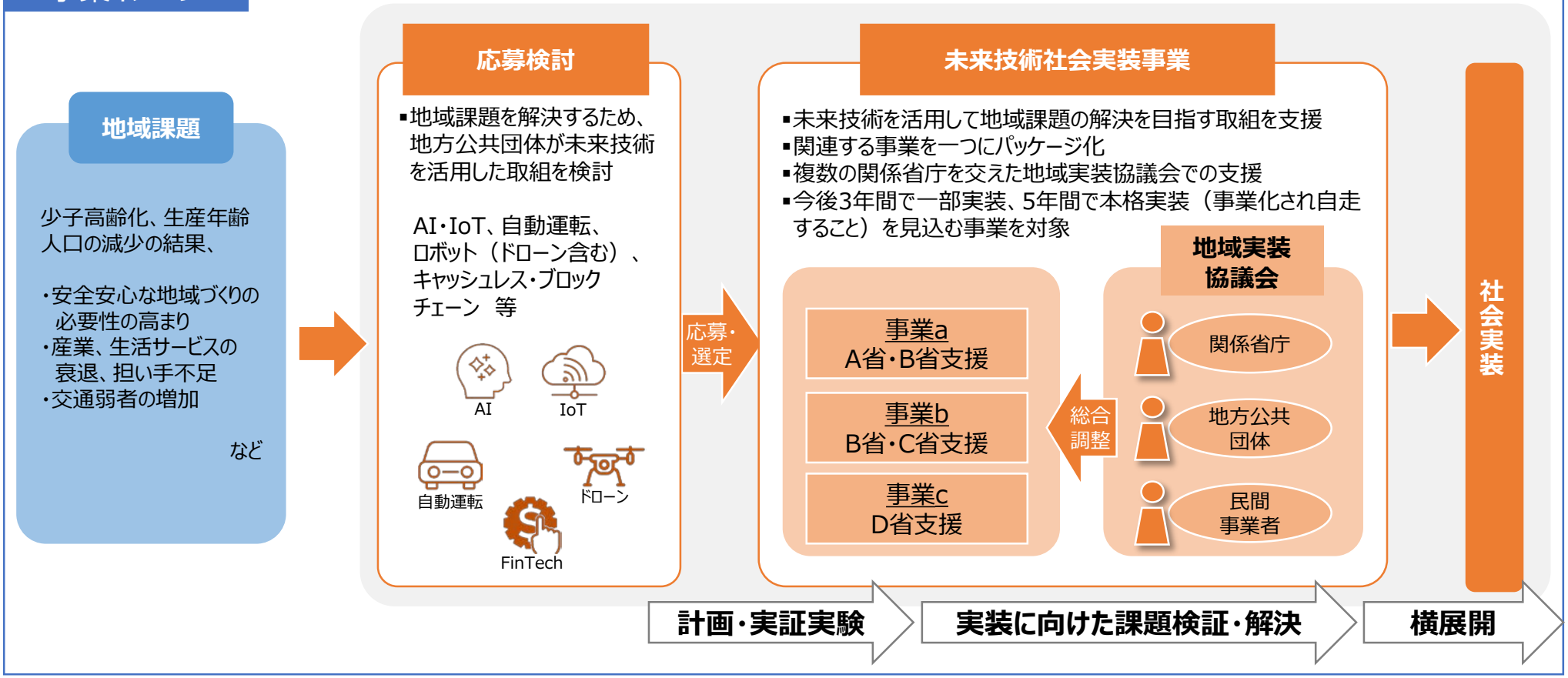
未来技術社会実装事業　概要

添付資料３

概　要

- AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先導性と横展開可能性等に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築するなど、関係府省庁による総合的な支援を３年間実施する。
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度に14事業、Ｒ１年度に8事業を選定、現在22事業に対して支援を実施中。

事業イメージ

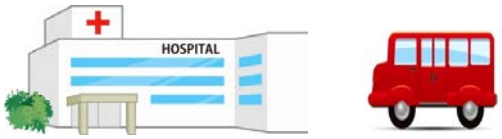


未来技術社会実装事業　事業推進体制について

- 選定事業毎に「地域実装協議会」を組織し、社会実装に向けて必要な事項を検討
- 地域実装協議会の事務局は、地方公共団体に置くものとし、地域実装協議会の運営等に関して必要な事項は、地域実装協議会で定める
- 地域実装協議会における国の実務責任者として「現地支援責任者」を選定

現地支援体制

A市



A市医療／未病プロジェクト
①事業a: 病院未病関連医師配置
ICT遠隔医療事業
②事業b：　地域巡回バス自動運転
③事業c：　高度化停留所の整備

総合調整

地 域 実 装 協 議 会

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

現地支援責任者
（●●省）

ワンストップ支援
（状況把握・助言・相談への対応等）

状況報告

支援指示

国の支援体制

未来技術実装関係省庁連絡会議

【議長】
内閣府地方創生推進事務局長
【構成員】
各省庁地方創生関連部局長

各種交付金・補助、特区の特例適用等について幅広く活用の検討

幹事会（課長級）

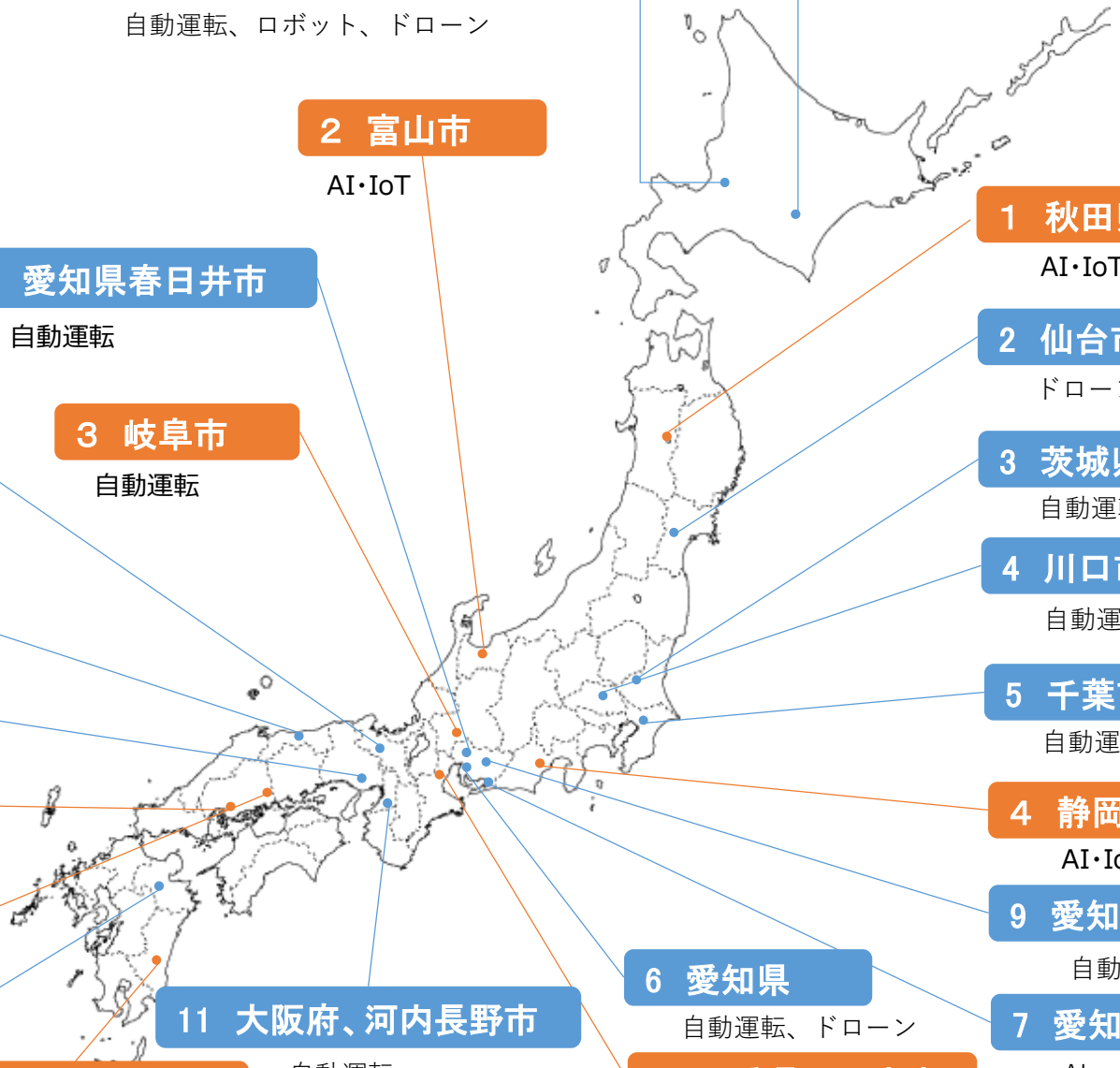
現地支援責任者の役割

(1)社会実装に向けたワンストップ支援
地域実装協議会における国の実務責任者として、複数の支援事業間の総合調整、目標の達成状況の把握、地方公共団体等への助言を行う。
(2)関係省庁連絡会議への報告
「未来技術実装関係省庁連絡会議」にて、適宜、事業の進捗状況及び課題事項等の報告を行う。
(3)その他未来技術社会実装事業全般に関する相談への対応

未来技術社会実装事業　選定事業一覧

:平成30年度選定

:令和元年度選定



1　北海道、岩見沢市、更別村
自動運転、ロボット、ドローン

2　富山市
AI・IoT

8　愛知県春日井市
自動運転

10　京都府亀岡市
自動運転、ドローン

3　岐阜市
自動運転

13　鳥取県
AI・IoT

12　神戸市
自動運転

6　広島県
AI・IoT、自動運転、ロボット、キャッシュレス、ブロックチェーン

7　広島県福山市
AI・IoT、自動運転、ロボット、キャッシュレス

14　大分県
ロボット

8　宮崎県、串間市
自動運転、ロボット、ドローン

11　大阪府、河内長野市
自動運転

5　三重県四日市市
AI・IoT

6　愛知県
自動運転、ドローン

1　秋田県仙北市
AI・IoT、自動運転、ドローン

2　仙台市
ドローン

3　茨城県、つくば市
自動運転、ロボット

4　川口市
自動運転

5　千葉市
自動運転、ドローン

4　静岡県
AI・IoT、自動運転

9　愛知県豊田市
自動運転

7　愛知県豊橋市
AI